

## 令和7年度　名古屋二大庭園クイズラリー

### 徳川園問題

#### 第一問

##### 問題

西湖提に柳の木が3本あります。京都の有名なお寺の境内にある「縁結びの柳」  
「地ずり柳」と呼ばれ親しまれている柳と同じ品種ですが、そのお寺(お堂)の名  
前がつけられた柳の名前は?

- ① 三角柳
- ② 六角柳
- ③ 柳裕也

##### 答え

②

##### 解説

この柳の名前の由来は、葉っぱや花実、幹が六角形でも無く、姿形に由来する  
名前ではありません。

平安時代に京都の六角堂に植えられたのが名前の由来です。

実は「縁結びの木」として京都では知られています。平安時代、お妃さまを探して  
いた嵯峨天皇の夢枕に六角堂の如意輪観音が現れ、六角柳の下を見るよう  
お告げをくださいり、六角柳の下に居た女性を后としてお迎えしたそうです。

以来、「六角堂の柳に願をかけると良縁に恵まれる」という噂が広がり、「縁結び  
の柳」として知られるようになったそうです。

ちなみに③柳裕也は中日ドラゴンズの投手です。

## 第二問

### 問題

四睡庵から続く道のどこかに、中部日本歌人会を創立した名古屋市出身の歌人、浅野梨郷(りきょう)氏の歌碑があります。その歌で詠まれているものは次のうちどれでしょう？

- ① 海
- ② 月
- ③ 雲

### 答え

③

### 解説

#### 短歌

「うつりつつ 静かに色をかへてゆく 豊旗雲の 空のたなびき」

#### 意味

「移りゆきながら、静かに色を変えていく。豊かにたなびく雲が、空に長く伸びている。」

浅野梨郷(本名 利郷(としさと))氏は、明治22年名古屋市に生まれ、東京外国语学校在学中に伊藤左千夫に師事、斎藤茂吉らと共に勉強しました。卒業後は鉄道院などに勤務した後、昭和10年名古屋市に勤務し昭和16年52才で退職しました。昭和31年4月中部日本歌人会を創立し代表委員となり、中部の短歌会の礎を築きました。教育、学術、文化にも広く功績を残され叙勲を受けられました。その間雑誌「武都紀(むつき)」、歌集「豊旗雲」や隨筆集「糸ぐるま」などを刊行されています。

